

第37回全日本クラブ卓球選手権大会青森県予選会開催要項

1 日 時 平成30年5月20日(日) 開館 8:00 開始 9:00

2 会 場 青森山田学園国際卓球センター

3 主 催 青森県卓球連盟

4 種 目 団体戦 (イ) 男子:一般の部1部 (ロ) 女子:一般の部1部
(ハ) 男子:一般の部2部 (ニ) 女子:一般の部2部
(ホ) 男子:50代の部 (ヘ) 女子:50代の部
(ト) 男子:60代の部 (チ) 女子:60代の部
(リ) 男子:小・中学生の部 (ヌ) 女子:小・中学生の部

5 競技ルール 1) 現行の日本卓球ルールによる。
2) 全試合、11ポイント5ゲームで行う。
3) 使用球はJTTA公認プラスチック球;40mmホワイトのみを使用する。
4) ゼッケンは平成30年度(公財)日本卓球協会指定のものを使用すること。

6 試合方法 競技は、第1ステージはリーグ戦、第2ステージはトーナメントで行う。

※予選会参加数により変更することもあります。

一般の部 : 監督1名、コーチ1名、選手4~6名を登録することができる。登録選手による4シングルス、1ダブルスを編成し、3番にダブルスをおき3点先取法により決定する。但し、1、2番の選手で3番のダブルスを組むことはできない。

50代の部 : 選手は50才以上で登録する。監督1名、コーチ1名、選手4~6名を登録することができる。登録選手による4シングルス、1ダブルスを編成し、3番にダブルスをおき3点先取法により勝敗を決定する。但し、1、2番の選手で3番のダブルスを組むことはできない。

60代の部 : 選手は60才以上で登録する。監督1名、コーチ1名、選手4~6名を登録することができる。登録選手による4シングルス、1ダブルスを編成し、3番にダブルスをおき3点先取法により勝敗を決定する。但し、1、2番の選手で3番のダブルスを組むことはできない。

小・中学生の部 : 監督1名、コーチ1名、選手4~6名(小中学生のみ)を登録することができる。登録選手による4シングルス1ダブルスを編成し、3番にダブルスをおき、3点先取法により勝敗を決定する。但し、1・2番の選手で3番のダブルスを組むことはできない。この場合の出場順は次の通りとする。

1	2	3	4	5	
中学生以下	小学生	小・中学生	or 小学生同士	小学生	中学生以下

※ 小・中学生の部のみ年令の低い者が年令の高い所への出場は認める。

※ シングルスとダブルスの2試合に出場できるが、シングルスのみ2試合出場することはできない。

7 参加資格 1) 参加者は平成30年度、(公財)日本卓球協会登録者で構成するチームであり、選手は選手登録、監督、コーチは役員登録を出場チームにおいて登録をしていること。監督、コーチは必ず役員章を大会時、腕に付ける事。なお、都道府県予選の申込み締め切り日以降の(公財)日本卓球協会新規選手登録は認められない。また、日学連・高体連に加盟している者は出場することができない。

2) 参加チームは、同じ都道府県、所属で登録している役員、選手からなるクラブ単位とし、都道府県代表として参加する事。

(平成30年度より:隣接都道府県からの参加は認めない。第36回大会(平成29年度)に隣接都道府県より出場しても平成30年度に1年間あける必要はない。)

- 3) 出場選手は同一年度に一人一種目までとする。
- 4) 卓球メーカーチームも参加できる。ただし、ブランド名、商品名をチーム名に用いてはならない。クラブ名を使用すること。
- 5) 男・女各部について、同一クラブから複数のチームが出場することができる。
- 6) 予選出場メンバーと本大会のメンバーを予選出場チーム間で入れ替えることはできない。また、予選会で敗れたチームの選手が本大会出場チームへ加わることはできない。なお、前年度ランキングチームのメンバーがチームを代えて予選に出場できるのは2名までとする。
- 7) 外国籍の選手（日本で出生して引き続き3年以上日本に在住している者、あるいは引き続き10年以上日本に在住している者は除く）は1試合1名1ポイントに限って参加資格が得られる。（シングルスとダブルスに重複して出場することはできない。）
- 8) 本大会に出場した代表チームのメンバーは、第一三共レディース2018・第41回全国レディース卓球大会に団体戦・個人戦を問わず出場することはできない。
- 9) 一般の部1、2部男・女は、第68回全日本実業団選手権大会（本大会）出場選手（参加登録者を含む）は出場できない。
- 10) 一般の部2部男・女
 - ①日本学生卓球連盟に所属していない大学同好会で、過去3年間、（‘15～‘17）下記の全国大会へ出場したことの無い人で構成されたチーム。
 - ②過去3年間（‘15～’17）下記の全国大会に出場したことの無い人だけで構成されたチーム。（過去3年間に下記全国大会に出場した選手が1人でも含まれる場合には1部となります）
 - ③全日本実業団選手権大会（予選会を除く）に参加したことの無い企業チーム。

※下記大会に出場したことがあっても40歳以上の者は一般の部2部に出場できる。

全国大会 ①全日本卓球選手権大会（一般・ジュニアの部）
 ②全日本選手権（団体の部） ③全日本社会人選手権
 ④国民体育大会 ⑤インターハイ（シングルス・ダブルス）
 ⑥全日本大学総合卓球選手権大会（個人の部）
- 11) 50代の部男・女は、昭和44年4月1日以前に生まれた者で構成された単独チーム。（50才以上）
- 12) 60代の部男・女は、昭和34年4月1日以前に生まれた者で構成された単独チーム（60才以上）
- 13) 小・中学校の部男・女は、各種の全国大会に出場した者でもよい。また、年令の低い者だけで構成してもよい。
- 14) 参加資格に違反した場合は失格とする。なお大会後に発覚した場合は、成績（ランキング）を剥奪し、当該チームと登録監督・コーチ及び選手は翌年度の本大会に出場することはできない。

8 代表数 全種目 男女各1チーム

9 参加料 男女一般の部1部・2部 4,000円 男女50代の部 4,000円
 男女60代の部 4,000円 男女小・中学生の部 3,000円

10 申込締切日 平成30年5月2日（水）必着

11 申込先 〒030-0123 青森市大矢沢字里見111-1
 国際交流センター 青森県卓球連盟事務局
 TEL 017-728-7800 FAX 017-728-3977
 Eメール：aotakuren@aomori-u.ac.jp
 ※FAXで申込の場合は、必ず着信確認をして下さい。
 ※メールで申込の場合は、事務局より受信確認後、空メールを返信いたします。
 返信のない場合はご連絡ください。

12 組合せ 組合せ委員会で行います。

13 本大会日程 平成30年7月13日（金）～16日（月・祝） 三重県 サオアリーナ